



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月5日

上場取引所 東名札

上場会社名 株式会社スズケン
コード番号 9987 URL <http://www.suzuken.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 太田 裕史
(氏名) 小坂井 順生

TEL 052-961-2331

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	1,655,486	12.2	17,273	62.6	30,628	30.3	19,869	34.7
27年3月期第3四半期	1,476,054	△0.7	10,620	1.6	23,510	△0.7	14,746	△1.0

(注)包括利益 28年3月期第3四半期 27,617百万円 (6.9%) 27年3月期第3四半期 25,832百万円 (39.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
28年3月期第3四半期	200.42	—
27年3月期第3四半期	148.72	—

(注)当社は、平成27年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合をもって株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	1,328,087	390,227	29.3
27年3月期	1,086,685	367,798	33.8

(参考)自己資本 28年3月期第3四半期 389,761百万円 27年3月期 367,384百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
27年3月期	—	27.00	—	27.00	54.00
28年3月期	—	27.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	27.00	54.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成27年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合をもって株式分割を行いました。平成27年3月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	2,157,300	9.5	18,000	35.9	34,800	15.6	22,000	16.3	221.92

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期3Q	103,344,083 株	27年3月期	103,344,083 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

28年3月期3Q	4,208,988 株	27年3月期	4,188,306 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	99,136,728 株	27年3月期3Q	99,156,727 株
----------	--------------	----------	--------------

(注)当社は、平成27年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合をもって株式分割を行いました^が、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数(自己株式を含む)及び期末自己株式数並びに期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

また、当社は、平成27年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合をもって株式分割を行っております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、中国等の経済成長の減速など先行き不透明感があるものの、政府による経済政策の効果もあり、緩やかな景気回復基調が続くなか、個人消費は雇用・所得環境の改善傾向を背景に、底堅い動きで推移いたしました。

医療用医薬品市場は、後発医薬品使用促進の影響があったものの、平成27年3月期に消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動があったことに加え、主に、C型肝炎治療剤、抗悪性腫瘍剤および生活習慣病関連薬剤の市場拡大により伸長したものと推測しております。

第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は1兆6,554億86百万円（前年同期比12.2%増）、営業利益は172億73百万円（前年同期比62.6%増）、経常利益は306億28百万円（前年同期比30.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は198億69百万円（前年同期比34.7%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(単位：百万円未満切捨て)

セグメントの名称		平成27年3月期 第3四半期累計期間	平成28年3月期 第3四半期累計期間	増減率(%)
医薬品卸売事業	売上高	1,406,044	1,581,681	12.5
	営業利益	4,950	10,959	121.4
医薬品製造事業	売上高	48,054	50,753	5.6
	営業利益	3,897	3,897	0.0
保険薬局事業	売上高	65,686	75,899	15.5
	営業利益	1,939	2,402	23.9
医療関連サービス等事業	売上高	24,635	28,596	16.1
	営業利益 又は 営業損失 (△)	△401	34	—

(注) セグメントの売上高にはセグメント間の内部売上高を含んでおります。

(医薬品卸売事業)

「医療用医薬品の流通改善に関する懇談会」による「緊急提言」を受け、引続き流通改善に取り組んでおります。具体的には、お得意さまごとに個々の医療用医薬品の価値に見合った粘り強い価格交渉に努めております。また、顧客信頼度ナンバーワンを実現するため、多様化や高度化するお得意さまニーズに対応したサービスの最適化と強い物流機能の確立に取り組んでおります。

売上高は、平成27年3月期に消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動があったことに加え、C型肝炎治療剤や抗悪性腫瘍剤など、新薬の寄与による市場拡大や、個々のお得意さまのニーズにお応えする活動に継続して取り組んだことにより、前年同期比12.5%の増収となりました。

営業利益は、増収効果により増益となりました。しかしながら、医薬品卸売事業を取り巻く経営環境は、お得意さまニーズの多様化や高度化への対応など引続き厳しい状況にあります。

これらの結果、売上高は1兆5,816億81百万円（前年同期比12.5%増）、営業利益は109億59百万円（前年同期比121.4%増）となりました。

(医薬品製造事業)

売上高は、平成27年3月期に消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動があったことに加え、糖尿病関連商品を中心に販売促進に努めたことにより増収となりました。平成27年6月1日から糖尿病食後過血糖改善剤「セイブル錠」の剤形追加品として、口腔内崩壊錠「セイブルOD錠」の発売を開始し、処方拡大を目指した活動に取り組んでおります。

営業利益は、研究開発費が増加したものの、増収効果により前年同期並みとなりました。

これらの結果、売上高は507億53百万円（前年同期比5.6%増）、営業利益は38億97百万円（前年同期比0.0%増）となりました。

(保険薬局事業)

売上高は、M&Aや新規出店により増収となりました。

営業利益は、M&Aなど店舗展開により販売費及び一般管理費が増加したものの、増収効果により増益となりました。

これらの結果、売上高は758億99百万円（前年同期比15.5%増）、営業利益は24億2百万円（前年同期比23.9%増）となりました。

(医療関連サービス等事業)

売上高は、主に、医薬品メーカーを対象とした物流受託の企画や管理、および希少疾病薬領域を中心とした医薬品の流通コーディネートをおこなう医薬品メーカー物流受託事業において、医薬品メーカーの物流受託および希少疾病薬の流通受託が増加したことや、介護事業において、既存施設に加え新規に開設した施設を中心に利用者が増加したことにより、増収となりました。

営業利益は、医薬品メーカー物流受託事業における増収効果により増益となりました。

これらの結果、売上高は285億96百万円（前年同期比16.1%増）、営業利益は34百万円（前年同期は4億1百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は次のとおりであります。

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,414億1百万円増加し1兆3,280億87百万円となりました。主な要因は以下のとおりであります。

流動資産は前連結会計年度末に比べ2,312億33百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が699億93百万円、受取手形及び売掛金が1,092億45百万円、有価証券が78億55百万円、商品及び製品が366億38百万円増加したことによるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ101億68百万円増加いたしました。これは主に、無形固定資産が17億21百万円減少したものの、有形固定資産が49億70百万円、投資その他の資産が69億19百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ2,189億72百万円増加し9,378億59百万円となりました。これは主に、未払法人税等が4億42百万円、賞与引当金が33億9百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が2,232億45百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ224億29百万円増加し3,902億27百万円となりました。これは主に、剰余金の配当の支払が51億10百万円あったものの、その他有価証券評価差額金の増加が72億84百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益を198億69百万円計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成27年10月27日に修正をしております。詳細につきましては、同日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	101,504	171,498
受取手形及び売掛金	486,573	595,818
有価証券	28,991	36,847
商品及び製品	140,549	177,187
仕掛品	2,897	3,429
原材料及び貯蔵品	2,498	2,960
その他	33,430	39,816
貸倒引当金	△2,163	△2,044
流動資産合計	794,281	1,025,514
固定資産		
有形固定資産	114,280	119,251
無形固定資産		
のれん	3,107	2,731
その他	19,381	18,035
無形固定資産合計	22,488	20,767
投資その他の資産		
投資有価証券	129,246	134,797
その他	27,031	28,333
貸倒引当金	△643	△576
投資その他の資産合計	155,634	162,554
固定資産合計	292,404	302,572
資産合計	1,086,685	1,328,087

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	649,686	872,931
短期借入金	995	902
未払法人税等	6,489	6,046
返品調整引当金	499	585
賞与引当金	8,318	5,008
その他	17,545	13,829
流動負債合計	683,535	899,305
固定負債		
長期借入金	1,124	1,085
役員退職慰労引当金	670	669
退職給付に係る負債	3,233	3,295
その他	30,324	33,502
固定負債合計	35,351	38,553
負債合計	718,886	937,859
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,546	13,546
資本剰余金	38,897	38,897
利益剰余金	288,772	303,597
自己株式	△12,077	△12,156
株主資本合計	329,138	343,884
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	43,174	50,458
土地再評価差額金	△5,869	△5,911
為替換算調整勘定	730	659
退職給付に係る調整累計額	209	670
その他の包括利益累計額合計	38,245	45,876
非支配株主持分	414	466
純資産合計	367,798	390,227
負債純資産合計	1,086,685	1,328,087

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	1,476,054	1,655,486
売上原価	1,341,212	1,508,743
売上総利益	134,841	146,743
返品調整引当金戻入額	493	499
返品調整引当金繰入額	533	585
差引売上総利益	134,802	146,657
販売費及び一般管理費	124,181	129,383
営業利益	10,620	17,273
営業外収益		
受取利息	513	425
受取配当金	1,358	1,391
仕入割引	5,851	6,179
受入情報収入	3,890	4,179
その他	1,549	1,513
営業外収益合計	13,161	13,689
営業外費用		
支払利息	16	39
不動産賃貸費用	152	152
その他	103	143
営業外費用合計	272	334
経常利益	23,510	30,628
特別利益		
固定資産売却益	52	354
負ののれん発生益	31	-
持分変動利益	48	-
その他	14	102
特別利益合計	146	457
特別損失		
固定資産除売却損	318	111
減損損失	2	217
その他	11	19
特別損失合計	332	348
税金等調整前四半期純利益	23,324	30,737
法人税等	8,545	10,816
四半期純利益	14,778	19,920
非支配株主に帰属する四半期純利益	32	51
親会社株主に帰属する四半期純利益	14,746	19,869

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	14,778	19,920
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,395	7,284
土地再評価差額金	△23	23
為替換算調整勘定	6	△4
退職給付に係る調整額	615	460
持分法適用会社に対する持分相当額	58	△67
その他の包括利益合計	11,053	7,696
四半期包括利益	25,832	27,617
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	25,799	27,565
非支配株主に係る四半期包括利益	32	51

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	医薬品 卸売事業	医薬品 製造事業	保険薬局 事業	医療関連 サービス等 事業	
売上高					
外部顧客への売上高	1,376,596	16,381	65,682	17,393	1,476,054
セグメント間の内部売上高 又は振替高	29,447	31,672	3	7,242	68,366
計	1,406,044	48,054	65,686	24,635	1,544,420
セグメント利益又は損失(△)	4,950	3,897	1,939	△401	10,384

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	10,384
セグメント間取引消去	236
四半期連結損益計算書の営業利益	10,620

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	医薬品 卸売事業	医薬品 製造事業	保険薬局 事業	医療関連 サービス等 事業	
売上高					
外部顧客への売上高	1,544,275	16,901	75,892	18,417	1,655,486
セグメント間の内部売上高 又は振替高	37,406	33,852	6	10,179	81,445
計	1,581,681	50,753	75,899	28,596	1,736,931
セグメント利益	10,959	3,897	2,402	34	17,293

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	17,293
セグメント間取引消去	△20
四半期連結損益計算書の営業利益	17,273

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。